

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

さぬき市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

香川県さぬき市

3 地域再生計画の区域

香川県さぬき市の全城

4 地域再生計画の目標

本市は、2002年4月1日、香川県大川郡の津田町、大川町、志度町、寒川町及び長尾町の5町が合併して誕生した。

人口の推移をみると、合併前の1995年までは徐々に増加し、5町の人口の総和が58,390人に達したが、その後減少に転じている。

2015年に行われた国勢調査によると、本市の人口は50,272人となり、1995年から20年間で約14%の減少となっている。

国立社会保障・人口問題研究所によると、2060年には22,930人まで人口減少が進行すると推計されている。

この要因として、出生数は2000年代前半までは概ね400人以上で推移していたが、2006年以降徐々に減少し、2018年には228人と、1995年以降24年間で最少を記録している。加えて、死亡数は増加傾向にあり、2000年代前半までは500人台で推移してきたが、2006年以降は徐々に増加し、2011年以降は平均690人を記録している。

その結果、1995年以降は自然減が続いている、2014年には470人を超える自然減となるなど、少子化、高齢化がそれぞれ進行することで、加速度的に自然減が進行している。

また、転入数は減少傾向にあり、2001年までは2,000人以上で推移してきたが徐々に減少し、2018年には1,233人となっている。転出数も同

様に徐々に減少しており、2002年以降は2000人を下回り、2018年には1,349人となっている。

その結果、1995年には214人の社会増であったが、徐々に減少して、2000年に社会減に転じ、さぬき市誕生の2002年、2003年及び2014年には社会増となるものの、2018年には116人の社会減となっている。これは、若年層が多様な働く場を求めて進学や就職などを機に市外へ転出したこと等によるものである。

本市における急激な人口減少は、労働力人口の減少や消費市場の縮小を引き起こし、経済規模を縮小させ、それが社会サービスの低下を招き、更なる人口流出を引き起こす悪循環に陥る可能性がある。

このような悪循環に陥る前に、人口減少問題を克服するため、次の事項を本計画の基本目標に掲げ、若い人が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを本市で過ごしてもらえるような地域を目指し、雇用や移住・定住、子育て支援など、今後も市をあげた取組を展開していく。

- ・基本目標1 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる
- ・基本目標2 さぬき市への人の流れをつくる
- ・基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標4 生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	雇用の場の確保と労働環境の充実に対する市民満足度（点）	-1.8	0.0	基本目標1
ア	市内事業所数（事業所）	1,971	1,850	基本目標1
イ	社会動態の人口増減数（人）	-116	-17	基本目標2
イ	観光地入込客数（人）	3,842,000	4,030,000	基本目標2
ウ	年間出生数（人）	228	250	基本目標3

ウ	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数（人）	小7.7 中37.4	小2.4 中26.8	基本目標3
エ	患者照会率（%）	27.6	30.0	基本目標4
エ	要介護認定率（%）	20.48	22.6	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

さぬき市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる事業
- イ さぬき市への人の流れをつくる事業
- ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- エ 生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる事業

② 事業の内容

- ア 誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる事業

地域企業の競争力強化への支援、企業誘致の促進、関係機関と連携した創業支援の充実、遊休農地の活用の促進、農作物の産地化に向けた支援、地域産業を支える若手経営者や技術者の育成支援等、地域密着の産業である商工業や農林水産業など、様々な分野に魅力的な働く場をつくる事業。

- イ さぬき市への人の流れをつくる事業

若者世帯等の定住促進施策の推進、移住ガイドツアーの実施、田舎暮らしの優位性をPRする取組の強化・推進、都市部等の人材を活用した地域づくりの推進、さぬき市に何度も訪れたくなる着地型旅行商品の開発及び発信等、都市部からの移住、関係人口の創出や交流人口の拡大を促

進するなど、本市への人の流れをつくる事業。

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

結婚応援事業の支援、出産の希望をかなえ、子育ての不安を解消する取組の推進、ワーク・ライフ・バランスの推進、多様性のある人材の育成等、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることに資する事業。

エ 生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる事業

さぬき市民病院による、健康に暮らし続けるためのサポートや、高齢者の元気づくり支援、目的に応じて選択できる公共交通の推進等、高齢になっても安心して暮らせる地域づくりの推進のほか、自主防災組織の訓練支援や地域防災のリーダーとなる防災士の育成など、全ての市民が安心して住み続けられる地域社会をつくる事業。

※なお、詳細は第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（ＫＰＩ））

4の【数値目標】と同じ。

④ 寄附の金額の目安

25,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度6月頃、3月末時点のKPIの達成状況を、さぬき市まち・ひと・しごと創生本部会議及びさぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議において検証を行う。

検証結果については、さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議の結果の公表に合わせ毎年度市ホームページにて速やかに公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5－3 その他の事業

5－3－1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

5－3－2 支援措置によらない独自の取組

該当なし。

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで